



西南学院大学・

図書館報

夏休み中に考えるべきこと

瀧上継雄・藤田尚充・横田守弘

井上哲雄

2~3

卒業論文書き方講座

片岡 章・前田芳人

4

A Treasure House for Students

E・マッシューズ

5

図書館の統計

6

"卒業論文"のための資料紹介

7

別冊付録 平成3年度指定図書目録



情報化社会と図書館情報提供

法学部教授 川上 宏 二 郎

1. 情報化社会の到来ということがいわれからすでに久しくなっています。今はさらに進んで、「高度」情報化社会の時代に入ったといわれます。最近の情報機器のめざましい発達は、さらに多くの情報を生んでおります。

情報は、モノやカネと違っていろんな特色もっています。第1に、情報は、すり減ることがありません。しかも第2に、利用されれば利用されるほど価値が増すものとなっています。したがって第3に、情報を手に入れる者・「知る」者は、それだけ価値をもち力をもちます。「知は力なり (Knowledge is power)」といわれるゆえんです。

話は横道にそれますが、ヨセフとマリアがナザレの町を出て、ベツレヘムへ行ったのは、そこがヨセフの先祖であるダビデの生まれ故郷であり、そこで皇帝アウグストが出した人口調査(census)の勅令による登録をするためであったといわれます。権力者にとって人々の状態を知ることが、有用であり必要であったのです。ナポレオンは、国の全体状況を知らせる統計を「国家の“事物の予算”」と表現したそうです。

2. 話を元に戻しましょう。情報という点から図書館をみますと、図書館は情報の宝庫です。蔵書数万冊と誇れば誇るほど、紙、レコード、フィルム、テープなどに記録された情報は膨大なものとなっていきます。

図書館は、情報の有無に答えてくれます。それが無かったり不足したりしていれば、収集し補ってくれます。情報の過多・氾濫に悩み、あ

るいは探し出すのに戸惑えば、適切に案内し検索してくれます。このように情報化時代の図書館は、インフォメーション・センターの機能をも有するようになっていきます。

3. ところで、図書館が、提供するために収集し、収集したものを提供する場合、そのすべての情報を無制約に提供することができるかの問題があります。通常、そのうち提供できない情報の筆頭に挙げられるのは、一定の個人情報です。その他考えられるものに、わいせつ本であると裁判所が判決で確定したもの、寄贈図書・寄託図書のうち寄贈者・寄託者が公開しないことを条件としているもの、などがあります。

個人情報とは、わかり易くいえば、ある個人の身元が判明する情報のことです。その人個人の情報はその人の自由な管理のもとにあるべきであって、他人はその管理をみだしてはならないという考えが基礎にあります(なお、ある人の図書閲覧カードを抜き出してみると、大体その人の読書傾向がわかることがあります。それは、絶対にしてはいけないことです)。

しかし、大学の図書館にあつては、利用の目的が学術的な調査研究にありますので、そのようなものであっても、大部分が制約条件をクリアするものと思われます。それはまた、利用の仕方にもかかる大事なことです。

いずれにせよ情報を大いに利用して、自らの教養的・学問的価値を高めたり、他のいろいろな目的を達成するための有効な手段としたりしたいものです。(以上)

「もう一つの世界」にあそぶ心

～児童文学とファンタジーを心の友に～

文学部教授 瀧上 継雄

教師にとって大切な能力や人間性とは何だろうか？専門的力はもちろんだが、子どもの世界に入りこむ能力は必要ないのだろうか？

ここでは、かたい本ではなく、暑い夏にも楽しい体験ができる「もう一つの世界」を紹介する。筆者は、思春期に「岩波少年文庫」のとりこになって以来、現在まで、これらの豊かな世界を最良の心の友としてきた。(そして今後もそうである。)残念ながら、学生の皆さんは、これらの中・高校時にほとんど読んでいない。

これら優れた児童文学やファンタジーの世界は、想像力によって、目に見えないものを思い描き、生きるエネルギーを生み出し、創造力の土台になる世界である。空想力や想像力は、科学的探求心と密接に結びついている。感性と理性のまるごと体験できる世界である。

また、「子どもの眼」、それは大人が見ていて見えない世界を見る眼であり、人間の真実を見ぬく眼でもある。

豊かな想像力や子どもの眼、それは子ども心をもちつづけることにつながり、教師に欠くことのできない条件であろう。

人間の精神活動の重要な方法の一つでもある「もう一つの世界」にあそぶことは、現代教育や大人に欠落しつつある人間性をとりもどすことでもある。ここでは教師や人間性を豊かにしたい人への必読書を紙面の都合で数冊にしぼって紹介する。(英語専攻者はぜひ英文で！)

- ①ル・グイン作、清水訳「影との戦い」(ゲド戦記I)、岩波書店、(原著 U.K. LeGuin "THE EARTHSEA TRILOGY" PUFFIN BOOKS)
- ②M. エンデ作、大島訳「モモ」、岩波書店、PUFFIN BOOKS.
- ③E. ケストナー作、高橋等訳、「飛ぶ教室」岩波書店、偕成社文庫、講談社文庫、PUFFIN BOOKS
- ④C. S. ルイス作、瀬田訳「ライオンと魔女」岩波少年文庫
- ⑤宮沢賢治作「銀河鉄道の夜」他、ちくま文庫、新潮文庫他
- ⑥齊藤隆介作「ペロ出しチョンマ」、理論社

夏休み中に

教師のセンス

文学部助教授 藤田 尚 充

教師の資質の一つとして、文学的センスが心要だと考え始めたのはいつの頃からだったろうか。学生時代に吉本隆明の感性と論理に魅せられ、そこで徹底した「内側」からの視線に出会ったこともその一因である。だが、直接的には今にもつぶれそうな少人数の塾で、「一体どうしたらわかってくれるのか」「この子は何を考えているのか」と必死に教材や指導方法を考えながら、むさぼるように読んだ多くの実践記録から得たように思う。それらの実践で感動しながら得たものは、教える方法や技術ではなく、縦横に躍動する子どもの感性であったし、それをつかみとる教師のセンスであった。今も鮮かに思い出す『新しい綴方教師』(国分一太郎)の一節がある。宿題として課された綴方を、ある少年がたった一行、

「きのう私は、私の家のうらの、私の家の畑の、私の家の桃をとってたべました。」

と書いて提出する。この綴方教師は、なんべんもくり返される「私の家の」を決して削りさることはしない。なぜ、この子はこれ程「私の家の」をくり返すのかと問う。そして、この子がクラスで他人のものを盗むと疑われていることを知るのである。この子にとって「私の家の」は、決して削ってはならないことばであった。

比喩的にいえば、学校教育は子どもをラングの世界に向かわせることを目的とする。しかし肉声を離れて、一般的な概念や記号によりかかるほど教育は「伝達」の様式をとらざるを得ない。私の出会った実践者は、ラングの世界を乗りこえ作りかえていく源泉として、個人に属するパロールに固執する教師達であった。子どもが発する表情や表現、特に「ことば」の内に人間的欲求や成長への芽ばえをつかみとるセンス、それは文学的センスと呼んでもいいのではないだろうか。

考えるべきこと

子どもの心に ふれるための読書

文学部教授 井上哲雄

通説・判例

法学部助教授 横田守弘

公務員試験の法律系科目の受験勉強においては、通説や最高裁判所の判例を覚えることが主要な作業である。たとえば憲法では、「憲法で保障された基本的人権は性質上可能なかぎりわが国に在留する外国人にも適用されるとするのが判例である」といったように。そして、性質上適用されないとされる権利の例として参政権や社会権などを、性質上適用されるとされる権利の例として自由権や請願権などをそれぞれ覚えておけば、地方上級や国家Ⅱ種の試験の対策としてはまず大丈夫である。

このように通説や判例を覚えておくことは、それ自体としてはそう難しいことではない。しかし、正直に言えばおもしろいことでもない。しかも、あなたが公務員になった後、外国人登録や外国人労働者の問題を扱うとき、おそらく役には立たないであろう。

そこで、せつかく暗記して勉強するのだから、もっとおもしろくやろうではないか。曙や小錦は日本の法律ではどのように扱われているのだろうか。結婚して子どもができたなら、学校はどうするのか。西南にいる外国人の先生や留学生はどうだろうか。そして、韓国との間で問題となった在日韓国人「三世」の法的地位とか指紋押捺さらには公務員受験資格などは、さっきの通説・判例とどう関係があるのだろうか。

こういうことを調べても公務員試験にはでないし、公務員になった後えらくなれるわけでもない。仕事がかどるわけでもない。しかし、あなたのなかで何かが生まれるはずだ。そして、その何かは、将来「アジアの拠点都市」を担うことになるあなたにとって決して無意味ではないと思うが、どうだろうか。

保母(父)や幼稚園の先生を目ざす学生には、夏休み中、読書や勉強もしっかりしてもらいたい。その前にまずいろいろな施設や園での実習、バイト、キャンプなどに参加して、実際に子どもにふれ、一緒に過ごして、子どもを心から好きになってほしい。子どもたちは、同じ目の高さでじっくりつきあってくれる大人に対しては、心を開いて、いろんなことを一緒にしたがるし、いろんなお話をしてくれる。本気で子どもたちの相手をし、遊びまわっているうちに一人ひとりの子どもが見えてくる。子どもにも個性があることに驚かされるし、年齢がちがうと発達段階もちがってきて、興味や遊びの展開もずいぶん変わってくることもわかる。こうして直接子どもとつきあう中で、どうしてこの子はこんな遊びが面白いんだろうか、とか、なぜあの子はこんなことですねて泣くのかなどの具体的な疑問が出てくる。本当に子どもの気持ちがもっとわかるようになりたいという動機づけが強くなって、そこで読書を始めたらい。

まず最初に、子ども向けの絵本や児童文学を子どもと一緒に読むとよい。絵本では、林明子、西巻芳子のもの、物語では今西祐行、灰谷健次郎、エンデ、C. S. ルイスなどの本を個人的好みからすすめたい。保育や児童心理の専門書は一般にそう面白くないが、何冊か子どもが見えてくる本もある。津守真の『子どもの世界をどうみるか』(NHKブックス)、その奥さんの津守房江の『育てるものの目』(婦人之友社)は日常的な子どもの行動の意味を考える参考になる。西平直喜の『幼い日々にかいた心の詩』(有斐閣選書)は「伝記による人間形成物語」の副題通り広く人間の成長を考えられて面白い。



卒業論文書き方講座

卒業の頃

文学部教授 片岡章

大学3年生頃までは、私は英米文学はあまり読んでいませんでした。よくわからない自分が気になる、その苛立ちを手取り早く鎮めようと、哲学・思想関係のものばかり読んでいました。わかるわからないには関係なく、ただ手当たり次第に読んでいたのです。その中で、強いていえば、ハイデッガーとマルチン・ブーバーが一番気持ちを鎮めてくれたように思います。

4年生になって、King Lear について卒論を書こうと決めた時、ゼミ担当教授に相談すると、「シェイクスピアを10篇位読んでみなさい、そうすればシェイクスピアの雰囲気少しわかってくるだろう」と言われました。それで図書館通いが始まり、Alexander Schmidt のShakespeare Lexicon を頼りに、くる日もくる日もシェイクスピアとの格闘でした。1ページ読むのに何時間もかけ、それでもよくわからなくて、すっきりしない気持ちを引きずりながら先に進まざるを得ない日々が読みました。目標の10冊を読み終えても「これだ」というものがつかめず、時間切れになるまで、もう1冊もう1冊と読み進まざるを得ませんでした。結局、卒論はリア王を通して「人間とは何か」という問題を考えるというものになりました。卒論は英語で書くことになっていましたので、英作文のことも考えて、研究書は洋書を利用しましたが、これは非常に有益だったと思います。

卒論が必修になる1年生は、この夏イギリス文学史とアメリカ文学史を1冊づつ読み、楽しむような作家を探し、まず1篇読んでみて下さい。西南の図書館は開架式で、作品であれ研究書であれ自由に手に取って見ることが出来ます。とにかく最初の1冊を読んでみることです。

卒論は 豊かな問題意識をもって

経済学部教授 前田芳人

卒論を単に要卒単位の中の4単位にすぎないと考えている学生が案外と多いのではないかと思います。卒論は便宜上4単位なのであって、実質は決してそんなものではない。内容的には、大学のカリキュラムの中でも最重要視されるべき性質のものである。その自覚が足りないように見受けられる。テーマは自分で選び、自分の頭で考え、悩み・格闘しなければ、卒論は書けないからである。教師から指示されたことをただやるだけでは、新たな工夫も創造力も発揮されない。若い時に悩み・考え抜いたことは、一生の財産として大きな利益を生むものである。卒論を書くことは、自分のアイデアを文章に整理できる。またとない機会でもある。それだけに周到な準備が必要である。

夏休みは、まとめて研究できる最良の時期である。すでに、テーマを決めている学生も多いと思うが、夏の2ヶ月間を問題意識をみがく期間として考えてみてはどうだろうか。そのためには、1冊でも多くの本を読み、複眼的な目を養うことである。現代は、もっと目をひらけば、今までになく新鮮な問題に取り組める時代である。ボーダレスエコノミーが進展するなか、社会主義の転換や地球規模の環境破壊・第三世界の低開発問題など、われわれが直面し、解決の目途を早急に立てなければならない問題は数多い。いまや、近代的価値体系は崩壊の途上にあると言ってよいのである。時代の変化を敏感にかぎとり、若さにあふれた、豊かな問題意識で、卒論に真剣に取り組んでほしいものである。

A Treasure House for Students

Evan Matthews

"Here is God's Plenty," Dryden said of Chaucer's Canterbury Tales. The same can be said of libraries. Dryden was in awe of his subject, and I of mine. When I think of the treasures that libraries contain, I hardly know where to begin. In a library we find at our fingertips all the world's store of knowledge. One good university library is undoubtedly enough to keep us busy for most of a lifetime; but with today's sophisticated computer systems, we are never limited to just one library. If the information we want is not in our library, we have only to press a few keys and the exact location of the material is before us. Then, in a matter of minutes the information is on its way to us. With all these international linkages, it is no exaggeration to say that just stepping into the nearest university library will put you in touch with the world, the world of the present and the world of the past. What we learn from these will determine the world of the future.

My first exposure to the wonders of a well-equipped library came during my student days at Baylor University in Waco, Texas. The library was, as Professor Schweitz said in this Bulletin recently, a "second home" to many students. Day and night the library was filled with students reading, doing research, writing essays. I had always thought of the library as a place for books, but I soon learned that books were only the tip of the iceberg. I found periodicals dating from the 18th century (the beginning of such publications in English); I found more than a hundred years of newspapers on microfilm and microfiche; I found a magnificent collection of musical recordings; and I found actual U.N. documents from the time of its founding to the present. In the rare book room I could hold in my hand an authentic first edition of Dr. Johnson's Dictionary or, in another place, pore over the fair copy of Byron's The Seige of Corinth, copied out by Lady Byron in 1815. The library at Baylor opened at around 8:00 a.m. and closed at around 2:00 a.m. so that students could have access to these many marvels.

In closing, I would like to dwell a bit on this matter of access. I discovered the riches of the library because I was allowed to. I could borrow any book and make copies of any articles or government documents in the library. I could not borrow recordings or rare books, but the library kept long hours so that I could use them on the premises. I was but a lowly undergraduate. The graduate students and professors could borrow books for longer periods of time, but in every other way I had as much access to library materials as they. A library is neither a vault or a museum. Ordinary students should be given the greatest possible access to its materials, and they should be given assignments that require them to make use of this access. Dryden also said of Chaucer, "As he knew what to say, so he knows also when to leave off." Hoping that I do, as well, I will here make an end.

(文学部助教授 EVAN MATTHEWS)

■図書館の統計

◎入館者数(表1)

(単位:人)

	全 体		1 年次生		2 年次生		3 年次生		4 年次生	
	平成2年度	平成元年度	平成2年度	平成元年度	平成2年度	平成元年度	平成2年度	平成元年度	平成2年度	平成元年度
文学部	46,553	46,060	10,726	10,783	13,966	10,281	9,158	10,856	12,703	14,140
商学部	18,024	17,207	4,382	3,354	4,555	3,584	3,977	5,649	5,110	4,620
経済学部	16,859	17,611	3,694	4,626	5,787	2,314	3,549	4,840	3,829	5,831
法学部	20,266	19,851	4,261	3,333	4,929	4,782	6,142	5,652	4,934	6,084
合 計	101,702	100,729	23,063	22,096	29,237	20,961	22,826	26,997	26,576	30,675

◎図書貸出状況(表2)

(単位:冊)

		平成元年度	平成2年度	備 考
学 生		26,220	28,858	大学院、専攻科、別科を除く
教員	専 任	6,799	7,002	
	非常勤			
職 員				
卒業生・特別利用		895	920	学院職員、聴講生など
計		35,211	36,780	

〔統計の解説〕

入館者数(表1)

平成2年度は平均値で算出した。商学部・法学部の入館者は増加し、経済学部は減少。文学部は若干の入館者増である。学年別では2年次生の増加が顕著で、3、4年次生は減少している。

図書貸出状況(表2)

学生、教員とも前年度より若干減少。

図書・新聞雑誌年間受入れ数(表4)

図書は毎年平均的に20,000~25,000冊を受入れている。

新聞雑誌は逐次刊行物であり、継続購入として毎年引続いて購入しているものである。毎年若干の新規購入雑誌があるが、量は僅少である。寄贈が半数以上を占めるが、これらは、他大学の論集・紀要がほとんどである。

文献複写利用状況(表5)

学生、学外(非常勤・相互協力)の複写は増加し、本学教員の複写は減少した。

マイクロ複写は、絶対数は少ないものの2倍に増加した。

◎図書・新聞雑誌所蔵数の状況(表3)

	和漢書	洋 書	計
図 書	338,875冊	213,761冊	552,636冊
	日本語	外国語	計
雑 誌	3,517種	1,823種	5,340種

◎年間受入れ数(表4)

		購 入	寄贈その他	計
図 書	和漢書	9,978冊	774冊	10,752冊
	洋 書	9,371	150	9,521
	計	19,349	924	20,273
雑 誌	日本語	694	2,405	3,099
	外国語	1,314	133	1,447
	計	2,008	2,538	4,546
新 聞	日本語	19	12	31
	外国語	26	0	26
	計	45	12	57

◎文献複写利用状況(表5)

		電 子 複 写				マ イ ク ロ			
		平成元年度		平成2年度		平成元年度		平成2年度	
		件 数	枚 数	件 数	枚 数	件 数	枚 数	件 数	枚 数
学 内	教員	1,271	38,802	963	37,279	9	982	18	1,798
	学生	3,991	38,346	4,162	39,887				
学 外		435	11,664	534	16,218	6	186	2	261
合 計		5,597	88,812	5,659	93,384	15	1,176	20	2,059

“卒業論文”のための資料紹介

(1)資料検索法と参考図書

卒業論文作成にあたり、指導教授に指導、アドバイスを仰ぐことは言うまでもありませんが、図書館の利用も重要なポイントとなります。そこで、まず図書館の利用法として主題(テーマ)別に検索を行なう方法と二次資料を用いて検索する方法をお勧めします。

資料の検索・収集では、書名・著者名での検索でも十分な資料は得られますが、主題でアプローチするとより効率的に資料が収集できます。

多くの図書館では、日本十進分類法(NDC)を用いて、資料の分類を行なっています。本学図書館においても例外ではありません。

NDCの体系

0 総記	300 社会科学	330 経済
1 哲学	310 政治	331 経済学・経済思想
2 歴史	320 法律	332 経済史・経済事情
3 社会科学	330 経済・経営	333 経済政策・国際経済
4 自然科学	340 財政	334 人口・土地・資源
5 技術	350 統計	335 企業・経営
6 産業	360 社会	336 経営管理
7 芸術	370 教育	337 貨幣・通貨・物価
8 言語	380 風俗習慣・民俗学	338 金融・銀行・信託
9 文学	390 国防・軍事	339 保険

この日本十進分類法に慣れれば、資料を探す上で非常に楽になります。実際にこの分類法(巻末に相関索引あり)を使って、主題検索を行なってみて下さい。

また、二次資料(参考資料)を大いに活用すると、本学図書館での所蔵の有無にかかわらず、広く組織的に資料を収集することができます。

二次資料には、辞典、事典、便覧、図鑑、年表、名簿、人名・地名辞典、商工録などのように事実解說的なもの、書誌、目録、索引、抄録などのような案内指示的のものがあありますが、広く組織的に収集する場合には、後者の方を利用するとよいでしょう。また、自分の求めている資料を見つけ、もし本学図書館に所蔵していなければ、他機関との相互協力により現物または、コピーを取り寄せることも可能です。ここではより一般的な資料を示しておきますが、本学図書館には、もっと多くの参考資料を所蔵していますので、これらも積極的に利用してください。

参考図書の解題書誌

- 日本の参考図書 解説総覧
(日本図書館協会 1980) [0281/4-]
- Guide to Reference Books American Library
(Association 1976) [015/2/6]
- Walford's Guide to Reference Materials
(London Library Association) [015/2/9-]

書誌の書誌

- 日本書誌の書誌 (巖南堂) [020/31/1-]
- 書誌年鑑 (日外アソシエーツ) [020/59/6-]

一般書誌

- 日本全国書誌 (国立国会図書館 1981-) [025/1/7-]
- 日本書籍総目録
(日本書籍出版協会 1977-) [025/1/13-]
- 出版年鑑 (出版ニュース社 1951-) [025/1/8-]
- 日本件名図書目録 (日外アソシエーツ 1984-) [025/1/15-]
- Books in Print (Bowker 1948-) [025/53/2-]
- Subject Guide to Books in Print (Bowker 1957-) [025/53/2-]

雑誌記事索引

- 雑誌記事索引 人文・社会編 (累積索引版)
(日外アソシエーツ 1975-) [039/0/7-]
- 雑誌記事索引 経済編/産業・企業編 (月刊)
(日外アソシエーツ 1979-) [039/0/11-]
- The Readers' Guide to Periodical Literature
(Willson) [0391/7-]
- Humanities Index (Willson) [0391/12-]
- 経済文献季報 (同朋舎) [330/31/3-]

総合目録

- 学術雑誌総合目録-和文編- (丸善) [050/31/23-]
- 図書総目録 (岩波書店 1982-) [025/1/9-]
- 新収洋書総合目録 (紀伊國屋 1986-) [029/0/3-]

(2)引用の仕方

(1)で卒論を書くための資料を揃えて、いざ論文を書くことになると、いろいろな約束事があるので注意が必要です。その中でも引用の仕方を誤ると、盗用ということにもなりかねません。そこで、地の文(自分が書いた文章)と引用文を区別する方法を紹介します。

- 引用はなるべく短くする(100字位)。
- 一、二行の短文の場合は「 」でくるんで、地の文に入れる。

- c. 引用文が数行にわたったり、あるいは半ページないしは数ページに及ぶ場合は、地の文よりも2コマさげて、3マス目から書き出し、引用文の頭を全部揃える。
- d. 引用は引用符「」(外国文なら“ ”)で引用中の引用は『』(外国語なら' ')でかこう。
- e. 引用文中の補足記号。必要な補足語は()または[]にいて加える。
- f. 引用文は正確に原文のとおりに用い、明らかに原著者の誤りと思われる場合でも、そのまま書き、その箇所を右わきに「ママ」と注記しておく。(外国文ならSicと書く)
- g. 引用の省略箇所には…と点をうつ。(外国文では三つの点を打つきまりになっている。)

(3)注のつけ方

引用した資料は、その出典を明らかにするために注をつける必要があります。その方法は次のとおりです。

- a. 引用した完全な情報を明示する(著者名、論文名、書名、雑誌名、巻数、出版年、ページなど)

- b. 他人の作品の注を無断で盗用しないこと。
- c. 注は各章末につけるか、論文の最後につける。

〔論文を書くための参考文献〕

- 木村時夫『事例レポート・論文の書き方』(南風堂 1979) [816/5/6]
宮内克男『レポート・論文のまとめ方と書き方』(川島書店 1978) [816/5/2]
斉藤 孝『学術論文の技法』(日本エディタースクール出版部) 1978) [816/5/4]
杉原四郎他『研究レポートのすすめ』(有斐閣 1979) [816/5/7]
佐藤孝一『博士・修士・卒業論文の書き方』(同文館 1980) [816/5/3]
白佐俊憲『研究の進め方・まとめ方』(川島書店 1980) [002/7/4]
トラウビアン『英語論文の書き方』(研究社 1980) [836/5/3]
瀧川元男『論文(レポート)の考え方と書き方—実践の手びき—』(南雲堂 1976) [836/5/1]
瀧川元男『論文(レポート)の考え方と書き方—実践の手びき—〔増補版〕』(南雲堂 1979) [836/5/1]
ヴァンルーネン『英語論文の書き方ハンドブック』(南雲堂 1985) [836/5/11]

報 告

《図書館委員会》

3. 4. 12①図書館増築計画の進捗状況
②図書館職員の人事異動
③平成3年度新規購入雑誌
④平成3年度私大助成の申請
⑤平成2年度図書館決算
⑥平成3年度図書館補正予算の申請
⑦平成3年度共通研究図書費、一般図書費及び新聞雑誌費の配分
3. 5. 1①私大助成ならびに高額図書購入申し込み

《人 事》

- 平成3年4月1日付
係長昇任 有 森 義 則 (情報サービス課)
平成3年6月30日付
館長解任 長 洋 一 (文学部教授)
平成3年7月1日付
館長併任 門田見 昌 明 (文学部教授)

- 係長昇任 品 川 寿 子 (整理課)
学生課へ 香 川 眞 里 (整理課)
学術研究所へ川 上 由美子
(情報サービス課)
整理課 長谷川 しのぶ (人事課から)
情報サービス課 川 口 まり子 (就職課から)

《研修・出張》

- 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会
4月25日 鹿屋市
第42回九州地区大学図書館協議会総会
4月26日 鹿屋市
長館長、堤次長、篠崎課長出席

編 集 後 記

「努力だ。勉強だ。それが天才だ。だれよりも三倍、四倍、五倍の勉強をする者。それが天才だ。」(野口英世) 夏休みに他人よりも多く遊ぶか、勉強するか。この2か月の使い方は重要だ。(J)

平成3年度 指定図書目録 (Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関係して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えています。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

神学部教員

中村和夫

◎キリスト教学Ⅰ、Ⅲ

新約聖書注解Ⅰ・Ⅱ (日本キリスト教団出版局)

文学部英文学科・外国語学科英語専攻教員

藤本滋之

◎英文法

現代の英文法Ⅱ 変形 (原口庄輔他/研究社)

橋渡し英文法 (毛利可信/大修館)

Transformational Grammar
(A. Radford/Cambridge Univ. Press)

一歩すすんだ英文法 (今井邦彦他/大修館)

◎英作文

ライトハウス和英辞典 (研究社)

新英和活用大辞典 (勝俣栓吉郎/研究社)

The BBI Combinatory Dictionary of English
: A Guide to word Combination.
(M. Benson/John Benjamins)

古屋靖二

◎演習Ⅱ

Hamlet(篠崎英文学研究叢書)
(大山俊一/篠崎書林)

「ハムレット」序論
(ハロルド・ジェンキンス/英宝社)

Hamlet (The Arden Shakespear)
(Harold Jenkins/Methuen)

「シェイクスピアの悲劇」
(日本シェイクスピア協会/研究社出版)

Hamlet (Casebook Series)
(John Jump/Macmillan)

P. A. トンプソン

Heinemann Guided Readers-Elementary
Level set B (Heinemann)

Heinemann Guided Readers-Elementary
Level Resource set C (Heinemann)

佐渡谷重信

◎演習Ⅰ、アメリカ文学史

総説アメリカ文学史 (斎藤光他/研究社)

原典アメリカ史 (アメリカ学会/岩波書店)

アメリカ文学史 (カンリック/北星堂)

J. D. サリンジャー研究 (繁屋久他/白川書院)

◎アメリカ文学研究(2)

エマソン選集1~6 (斎藤光他/日本教文社)

森の生活—ウォールデン
(佐渡谷重信/講談社 学術文庫)

◎比較文学

若き日の森鷗外 (小堀桂一郎/東大出版会)

夏目漱石(上・下) (江藤淳/新潮社)

田中輝雄

◎演習Ⅱ

A Mark Twain Lexicon (R. L. Ramsay)

文学部フランス語専攻教員

有田忠郎

◎フランス文学概論

フランス文学史 (饗庭孝男他/白水社)

中村栄子

◎フランス文学講義

欧米文芸登場人物事典 (大修館)

フランス文学史 (白水社)

小 熊 和 郎

◎フランス語文法

フランス文法事典	(朝倉秀雄/白水社)
フランス語ハンドブック	(朝倉秀雄他/白水社)
フランス語の手紙	(市川慎一/白水社)

◎フランス語専攻1年生

役に立つフランス語を (フランス語教育振興協会/駿河台出版)
フランス語とフランス人気質 (丸山圭三郎/日本放送出版協会)
読む事典 フランス (菅野他/三省堂)
事典現代のフランス (大修館)

◎フランス語学概論

フランス語を読むために (南館、石野/白水社)
フランス語を考える20章—意味の世界— (泉/白水社)
フランス語、意味の散策 (泉/大修館)
書きながら考えるフランス語(大賀正喜/白水社)
初学者も専門家も冠詞抜きでフランス語は わからない (一川周史/駿河台出版)

◎時事フランス語

フランス学入門 (小林善彦/白水社)

太 田 和 男

◎フランス文明論講読

『ジャポネとフランセ』(新版) (倉田保雄/サイマル出版会)
フランス学入門 (小林善彦/白水社)

◎実務フランス語

Le francais des hommes d'affaires. (Dany, et al./Hachette)
Le francais des relations internationales. (Dany, et al./Hachette)
Le francais de l'hotellerie et du tourisme. (Dany, et al./Hachette)
Le francais des employes. (Hachette)
Manuel bilingue de correspondance et communication dans les affaires. (Davies, et al./Prentice Hall international)

文学部児童教育学科教員

安 楽 和 夫

◎数学(3)

文科系の数学 (渡辺隆一、深見哲造/森北出版)
統計数学 (柳川堯/近代科学社)
基礎数学概論 (野崎昭弘/サイエンス社)
新修文系・生物系の数学 (梶原壤二/現代数学社)
一般関数論 (犬井鉄郎、柳原二郎/朝倉出版)

◎数学(4)

確率論とその応用 (国沢清典/岩波書店)
確率論 (西尾真喜子/実教出版)
初等確率論 (国沢清典、羽鳥裕久/培風館)
統計数学 (工藤昭夫他/共立出版)
数理統計学 (竹内啓/東洋経済)

◎自然科学概論

自然科学概論 (小野周/朝倉書店)
自然科学概論 (香月裕彦/講談社サイエンティフィック)
科学その歩み (藤村淳、脇岡義人他/東京教学社)
宇宙論への招待 (佐藤文隆/岩波新書)
科学の方法 (中谷宇吉郎/岩波新書)

◎教育情報処理

はじめての一太郎 Ver 4.3 (武内愛樹、野田祐己/ 秀和システムトレーディング株式会社)
これならモノになるアシストカード (塚越一雄/ナツメ社)
入門Lotus 1-2-3 教育編(伊藤義之/エーアイ出版)
パソコン入門 (石田晴久/岩波新書)
ワープロ徹底入門 (木村泉/岩波新書)

藤 田 尚 充

◎社会教材研究

人間ってすごいね 先生 —子どもとともに創った人間の歴史の授業— (久津見宣子/授業を創る社)
人間とは何か・ものをつくる授業 (白井春男/太郎次郎社)

◎社会科概論

社会科教育入門 (宮原武夫/大月書店)

◎生活科概論

社会科『解体論』批判 (緊急シンポ世話人会/明治図書)
『銀河鉄道の夜』とは何か (村瀬学/大和書房)

◎社会科教育法、地理歴史科教育法

子どもと学ぶ歴史の授業 (安井俊夫/地歴社)
ちからを伸ばす「世界史の授業」 (鈴木亮/日本書籍)
ちからを伸ばす「世界地理の授業」 (豊田薫/日本書籍)
ちからを伸ばす「日本史の授業」 (本多公栄/日本書籍)
ちからを伸ばす「日本地理の授業」 (小島晃/日本書籍)

◎(教職)教育原理

教育の原理 (I・II) (稲垣忠彦他/東京大学出版会)

菱谷晋介

◎心理学測定法I

認知心理学への招待 (ベネット他/サイエンス社)
パーソナルコンピュータによる心理学実験入門 (中谷他/ブレン出版)
シーイング (フリズビー/誠信書房)
教材心理学 (上里他/ナカニシヤ出版)
心理学における実験と測定 (依田/日本文化科学社)

◎心理学(2)

認知の構図 (ナイサー/サイエンス社)
人間の情報処理 (ルーメル、ハート/サイエンス社)
認知心理学講座第1巻 (大山他/東大出版会)
認知心理学講座第2巻 (小谷津/東大出版会)
認知心理学講座第3巻 (佐伯/東大出版会)

◎教育情報処理

心理・教育のための統計法(山内/サイエンス社)
S-P表の入門 (佐藤/明治図書)
質的データの解析(エヴェリット/サイエンス社)
ロータス1-2-3による統計入門 (広松他/朝倉書店)
Lotus 1-2-3ハンディ・マニュアル (ナツメ社)

◎教育心理学II

認知心理学概論 (アンダーソン/誠信書房)
認知科学入門 (戸田他/サイエンス社)
イメージの心理学 (ドゥーニ/勤草書房)
イメージの基礎心理学 (水島/誠信書房)
認知心理学のすすめ (メイヤー/サイエンス社)

大濱順彦

◎理科教材研究、理科概論I

理科教育実践講座 (全18巻) (理科教育実践講座刊行会/小学館)
話題源物理 (伊平保夫/東京法令出版)
話題源化学 (長谷川俊明/東京法令出版)

◎理科概論、物理学概論、化学概論

理科教育実践講座 (全18巻) (理科教育実践講座刊行会/小学館)

◎物理学

常温核融合 (岡本眞實/日刊工業新聞社)
放射線—その利用とリスク— (E.ホーチン/地人書館)
放射線—その線量・影響・リスク— (国連環境計画/同文書院)
核融合 (杉浦、谷本/オーム社)
現代物理への招待 (広瀬立成/培風館)

生野金三

◎国語教材研究

小学校国語科指導細案 3年 (飛田多喜雄/明治図書)
小学校国語科指導細案 4年 (飛田多喜雄/明治図書)
読む力、書く力を育てるノート指導1・2年 (須田実/明治図書)
読む力、書く力を育てるノート指導3・4年 (須田実/明治図書)
読む力、書く力を育てるノート指導5・6年 (須田実/明治図書)

田代裕一

◎保育原理Ⅱ(C)

保育内容総論(保育講座2) (森上史朗/ミネルヴァ書房)
保育所保育指針解説 (平井信義他/チャイルド本社)
新保育所保育指針一理解のためにー (石井哲夫/ひかりのくに)
園の経営、クラスの経営(保育講座1) (森上史朗/ミネルヴァ書房)
応答的保育入門(宮原和子他/蒼丘書林)

◎特別活動の研究

実践学校経営診断④ 生徒指導活動の診断 (高野桂一、木原孝博/ぎょうせい)
子供の自分くずしと自分づくり (竹内常一/UP選書)
生徒指導の理論(教育学大全集第33巻) (木原孝博/第一法規)
生活指導における集団指導の基礎理論 (峰屋慶/明治図書)
特別活動論(教育学大全集第32巻) (宇留田敬一/第一法規)

◎教育方法論

教師の仕事と技術(斎藤喜博/国土社)
人間のための教育(上田薫/国土社)
ドラマとしての授業の成立(吉本均/明治図書)
<子ども不在>の教育論批判 (教育実践研究会/大和書房)
学校と教育方法(三枝孝弘/講談社)

◎社会科教育法

社会科授業づくりのヒント (小森ケン子/明治図書)
地名に学ぶ(谷川彰英/黎明書房)
知られざる教育(上田薫/黎明書房)
戦後社会科教育論争に学ぶ(谷川彰英/明治図書)
社会科「解体論」批判 (緊急シンポ世話人/明治図書)

文学部国際文化学科教員

赤尾美秀

◎西洋文学

トーマス・マン(K.シュレーター/理想社)
トーマス・マン反語的ドイツ人 (エーリヒ・ヘラー/筑摩書房)
若いゲーテ(評伝)(高橋健二/河出書房新社)
ヴァイマルのゲーテ(評伝) (高橋健二/河出書房新社)

◎ドイツ文学概論

挑発としての文学史(H.R.ヤウス/岩波書店)
物語の構造分析(R.バルト/みすず書房)
文学とは何か(T.イーグルトン/岩波書店)

後藤新治

◎美術史

講座・20世紀の芸術(全9巻)(岩波書店)
20世紀美術(N.スタンゴス/パルコ出版)
現代美術の流れ(E.L.スミス/パルコ出版)
光芒の1920年代(朝日ジャーナル/朝日新聞)
1930年代の美術(E.L.スミス/岩波書店)

◎西洋美術史

ケンブリッジ西洋美術の流れ(全8巻) (岩波書店)
新版美術の歴史(全2巻) (H.W.ジャンソン/美術出版)
西洋美術史(吉川逸治/美術出版)
西洋美術史への視座(新田博衛/勁草書房)
芸術と幻影(E.H.ゴンブリッジ/岩崎美術)

◎地域文化概論Ⅸ

読む事典フランス(高階秀爾他/三省堂)
モダンマスターズシリーズ(美術出版)
大系世界の美術(全20巻)(学習研究社)
世界美術大事典(全6巻)(小学館)
芸術学ハンドブック(神林恒道/勁草書房)

◎フランス近代美術

18世紀フランス絵画の研究(坂崎坦/岩波書店)
ロマン主義の反逆(K.クラーク/小学館)
群集の中の芸術家ーボードレールと19世紀 フランス絵画(阿部良雄/中央公論)
ループルとバリの美術(全8巻)(小学館)
西洋美術解説事典(J.ホール/河出書房新社)

◎文献講読II

印象派	(J.クレイ/中央公論)
美術の歩み(上・下)	(E.H.ゴンブリッチ/美術出版)
オルセー美術館(全6巻)	(NHK)
オックスフォード西洋美術事典	(講談社)
新潮 世界美術辞典	(新潮社)

磯 望

◎地理学I

風土の構造	(鈴木秀夫/大明堂)
超越者と風土	(鈴木秀夫/大明堂)
日本の扇状地	(斎藤享治/古今書院)
自然地理学講座(全5巻)	(大明堂)
カラーシリーズ 日本の自然(全10巻)	(大森昌衛/平凡社)

◎自然地理学(教職科目)

地図学(総観地理学講座4)	(高崎正義/朝倉書店)
地形学(総観地理学講座6)	(佐藤久/朝倉書店)
水文学(総観地理学講座8)	(市川正己/朝倉書店)
日本の自然 全8巻	(岩波書店)

◎自然地理学

地形学(総観地理学講座6)	(佐藤久/朝倉書店)
写真と図でみる地形学	(貝塚爽平/東大出版)
空中写真による日本の火山地形	(日本火山学会/東大出版会)
日本被害地震総覧	(宇佐見龍六/東大出版会)
The Landform of Japan	(T. Yoshikawa/東大出版会)
日本列島の誕生	(平朝彦/岩波書店)

岩尾龍太郎

◎倫理学

カリブの海賊(エスケメリング/誠文堂新光社)	
イギリス海賊史 上・下	(ジョンソン/リブロポート)
海賊の系譜	(別枝達夫/誠文堂新光社)
目の中の劇場	(高山宏/青土社)
メデューサの知	(高山宏/青土社)

◎倫理思想史

東方見聞録 上・下	(マルコ・ポーロ/平凡社)
冒険の文学	(P.ツヴァイワ/法政大)
南半球の発見	(レチフ/創土社)
世紀末異貌	(高山宏/三省堂)
二つの世紀末	(高山宏/三省堂)

◎演習

幻想の東洋	(彌永信美/青土社)
他者の記号学	(トドロフ/法政大)
バウンティ号の反乱	(リチャード・ハウ/フジ出版)
太平洋の迷宮	(港千尋/リブロポート)
神秘的島 上・下	(ヴェルヌ/福音館)

森 泰男

◎キリスト教学I

聖書の思想	(清水義樹/ヨルダン社)
わたしの聖書物語	(岩本二郎/日本基督教団出版局)
教養としての聖書入門	(松尾節/ヨルダン社)
聖書の読み方(加藤常昭/日本基督教団出版局)	
新しい新約聖書概説(上・下)	(ケスター/新地書房)

◎キリスト教学II

賢い悪魔—逆説的キリスト教入門	(岩村太郎/新教出版社)
若き友へ	(秋田稔/ヨルダン社)
現代思想の中の神	(小田垣雅也/新地書房)
ニーチェとその影	(三島憲一/未来社)
神の痕跡	(岩田靖夫/岩波書店)

◎キリスト教学III

ヨーロッパ・キリスト教美術案内	(P.ミルワード他/日本基督教団出版局)
デカルトさんとパスカル君	(ブリスヴィル/工作舎)
『パンセ』における声(末松壽/九州大学出版局)	
モンテーニュとパスカルとのキリスト教弁証論	(前田陽一/東京創元社)
パスカル『パンセ』註解	(前田陽一/岩波書店)

◎キリスト教学Ⅳ

余暇と祝祭	(J.ピーパー/講談社)
シャドウ・ワーク	(I.イリイチ/岩波書店)
時間に追われる人間	(佐藤敏夫/新教出版社)
トレルチ著作集 7-10巻	(E.トレルチ/ヨルダン社)
自然、歴史そして神義論	(芳賀力/日本基督教団出版局)

◎地域文化概論

ヨーロッパの歴史	(E.ピレンヌ/創文社)
ウィーン愛憎	(中島義道/中央公論社)
ヨーロッパ像の転換	(西尾幹二/新潮社)
ヨーロッパの地殻変動を語る	(笹本、藤村/岩波書店)
地中海世界Ⅰ	(F.ブローデル/みすず書房)

◎西洋中世哲学思想

脳と自由意志	(武島達夫/八重岳書房)
中世の人間像(上智大学中世思想研究所/創文社)	
中世の自然観(上智大学中世思想研究所/創文社)	
中世における自由と超越	(リーゼンフーバー/創文社)
個体論の崩壊と形成	(青木茂/創文社)

◎文献講読Ⅱ

十二世紀ルネサンス	(ハスキング/創文社)
中世イタリアの大学生活(ザッカニーニ/平凡社)	
『アナール』学派と社会史	(竹岡敬温/同文館)
甦える中世ヨーロッパ	(阿部謹也/日本エィタースクール出版部)
中世イタリアの都市と商人	(清水廣一郎/洋泉社)

大谷裕文

◎文化人類学 1・2

王権の位層	(松原正毅/弘文堂)
-------	------------

新谷秀明

◎中国文学(1)

中国現代文学事典	(丸山昇、伊藤虎丸、新村徹/東京堂出版)
中国近代文学論争史	(高田昭二/風間書房)

◎現代中国文学

樋口先生古稀記念 中国現代文学論集	(中国書店)
-------------------	--------

商学部教員

古林輝久

◎労務管理論

労務管理の生成と展開	(小林康助/ミネルヴァ書房)
労使関係の転換と選択	(戸塚秀夫・兵藤剣/日本評論社)
賃金の社会科学	(石田光男/中央経済社)

◎経営労務論

脱近代の労働観	(杉村芳美/ミネルヴァ書房)
日本の労働者	(藤本武/新日本出版社)
労働史序説	(出水和夫/白桃書房)
メカトロニクス時代の労働	(山下幸男/新評論)

後藤泰二

◎企業形態論

株式会社支配論の展開(イギリス編)	(正木久司/文真堂)
企業集団財務論	(坂本恒夫/泉文堂)
株式の持合と企業法(中島修三/商事法務研究会)	
企業形態論	(小松章/新世社)
水越潔古稀記念論文集 財務制度の現状と課題	(水越潔/中央経済社)

◎保険論

米国の医療経済	(松山幸弘/東洋経済)
アメリカの生命保険会社	(古瀬政敏/東洋経済)
保険社会	(池野高理/技術と人間社)

◎演習Ⅰ・Ⅱ

日本の企業発展史	(下川浩一/講談社現代新書)
巨大機関投資家	(津田和夫/講談社現代新書)
銀行と証券	(熊野剛雄/講談社現代新書)
企業買収	(奥村宏/岩波新書)
兜町の40年	(細金正人/中公新書)

小森俊介

◎広告論

新法と新聞	(新聞協会研究所/日本新聞協会)
広告と法	(長尾治助/日本評論社)
昭和テレビ放送史(上・下)	(志賀信夫/早川書房)
企業イメージ戦学	(S.サワーハフト他/電通)
ニュース帝国の苦悩	(ピーター・ボイヤヤー/TBSブリタニカ)

◎マーケティング論

卸売商業構造論	(荒川裕吉/千倉書房)
販売促進と消費者行動	(荒川裕吉/千倉書房)
小売市場の経済分析	(桑原秀史/千倉書房)
コンシューマリズム	(アーカー・ムディ/千倉書房)
消費者行動	(阿部周造/千倉書房)

◎外書講読II

第五世代マネジメント	(チャールズ・M.サバージ/朝日新聞社)
JIT・CIMイノベーション	(平野裕文/日刊工業新聞社)
組織認識論	(加護野忠男/千倉書房)
経済計算の理論	(松田和久/千倉書房)
経営管理	(野中郁次郎他/中央経済社)

野 藤 忠

◎経営史

経営史講義	(大河内暁男/岩波書店)
アメリカ経営史学の研究	(榎本悟/同文館)
比較経営史序説	(中川敬一郎/東大出版会)
経営者の時代 上・下	(A. D. チャンドラー/東洋経済新報社)
社会的経営理念	(野藤忠/森山書店)

大 矢 繁 夫

◎演習I

日本の証券市場	(岡崎、浜田/有斐閣)
株式会社頭市場	(浜田、西崎、熊谷/東洋経済新報社)
企業買収	(奥村宏/岩波書店)
マネーセンターの興亡	(高橋琢磨/日本経済新聞社)
基軸通貨の終焉	(M. マグリエッタ/新評論)

◎演習II

国際通貨論入門	(滝沢健三/有斐閣)
図説国際金融	(大蔵省国際金融局/財経詳報社)
実践ゼミナール国際金融	(深尾光洋/東洋経済新報社)
ヨーロッパンバンキング	(相沢幸悦/有斐閣)
世界の中央銀行	(田尻嗣夫/日経新聞社)

◎証券論

図説日本の証券市場	(大蔵省証券局/財経詳報社)
アメリカの株式市場	(大村敬一/東洋経済新報社)
現代貨幣信用論	(西村・深町・小林・坂本/名古屋大出版会)
株式会社支配論の展開	(イギリス編)
	(正木久司/文真堂)
買占め・乗取り・TOB	(奥村宏/社会思想社)

辻 和 夫

◎交通論

都市交通	(角本良平/晃洋書房)
国有鉄道	(中西健一/晃洋書房)
航空輸送	(増井健一、山内弘達/晃洋書房)
鉄道史研究試論	(原田勝正/日本経済評論社)
都市交通	(広岡治哉、渡辺与四郎/法政大学産業情報センター)

◎公企業論

公益事業と規制緩和	(林敏彦/東洋経済新報社)
公共経済学を求めて	(宇沢弘文/岩波書店)
規制改革と競争政策	(野尻俊明/白桃書房)
現代公共企業総論	(山本嘉博/東洋経済新報社)
現代公共企業論	(一瀬智司/東洋経済新報社)

経済学部教員

吾 郷 健 二

◎外書講読II

Development & the Environmental Crisis.	(M. Redclift/Methuew)
---	-----------------------

◎世界経済論

地球環境論	
南北問題の現代的構造	(本多健吉/日本評論社)
経済人類学	(栗本慎一郎/東洋経済新報社)
国際労働力移動	(森田桐郎/東大出版会)

◎発展途上国経済論

発展途上国の政治経済学	(川田侃/東京書籍)
-------------	------------

中馬正博

◎演習 I

誰がケインズを殺したか (W.カールビブン/日本経済新聞社)
国民経済計算の知識 (西嶋周二他/日本経済新聞社)
国民経済計算年報 平成2年版 (経済企画庁/大蔵省印刷局)
県民経済計算年報 平成2年版 (経済企画庁/大蔵省印刷局)
入門マクロ経済学 (中谷巖/日本評論社)

◎情報処理基礎

文科系のコンピュータ/入門篇 (高森寛他/岩波書店)
文科系のコンピュータ/応用篇 (真鍋龍太郎他/岩波書店)
文科系のコンピュータ/環境篇 (廣瀬健他/岩波書店)

◎統計学総論

統計小事典 (統計教育推進会/日本評論社)
初等統計学 (P.G.ホーエル/培風館)
統計学の手ほどき (日経文庫) (安川正彬/日経新聞社)
統計学のはなし (養谷千風彦/東京図書)

原田三喜雄

◎日本経済史

明治維新の国際的環境 (石井孝/吉川弘文館)
黒船前後の世界 (加藤祐三/岩波書店)
世界市場と幕末開港 (石井寛治、関口尚志/東大出版会)
日本経済史 (石井寛治/東大出版会)
日本の近代化の世界史的位置 (芝原拓自/岩波書店)

◎演習 I

世界経済入門 (西川潤/岩波書店)
世界経済をどうみるか (宮崎義一/岩波書店)
ドルと円—世界経済の新しい構造 (宮崎義一/岩波書店)
日米関係史 (細谷千博、本間長世/有斐閣)
世界開発報告 1990年 (世界銀行/イースタン・ブック・サービス)

◎演習 II

日本経済図説 (宮崎勇/岩波新書)
実践ゼミナール日本経済 (正村公宏/東洋経済)
ゼミナール日本経済入門 (日本経済新聞社)
21世紀への基本戦略 (経済企画庁総合計画局/東洋経済)
2000年の産業構造 (通産省産業政策局/通商産業調査会)

伊藤治夫

◎演習 I

資源サイエンス (ジンマーマン/三嶺書房)
豊かさにとって農業とはなにか (岸本重陳/家の光協会)

◎資源貿易論

OPEC危機の構造 (伊藤治夫/同友会)
資源貿易の経済学 (山澤逸平、池間誠/文眞堂)

◎中東経済論

バグダードからアデンまで (伊藤治夫/日本貿易振興会)
紛争と平和の世界的文脈 (1・2・3) (国際連合大学/国際書院)

松原宏

◎演習 I・II

都市化と都市システム (森川洋/大明堂)
世界の都市システム (山口岳志/古今書院)
大都会の誕生 (喜安朗他/有斐閣)
地域分析 (村山祐司/古今書院)
地域研究法 (上野和彦/大明堂)

◎人文地理学 (1)

現代の地理学 (中藤康俊/大明堂)
土地白書 (平成2年版) (国土庁/大蔵省印刷局)
世界都市再開発NOW (関西情報センター/学芸出版会)
世界の大都市 7—東京・大阪— (大阪市大経研/東大出版会)
東京・世界都市化の構図(井上純一他/青木書店)

◎経済地理

西南経済圏分析 (矢田俊文/ミネルヴァ書房)
地域経済学 (宮本憲一他/有斐閣)
産業空間のダイナミズム (西岡久雄/大明堂)
福岡一極集中と九州経済 (九州経済調査協会)
景気拡大が浸透した地域経済 (経済企画庁/大蔵省印刷局)

仲澤幸壽

◎厚生経済学

公共経済学 (柴田弘文・柴田愛子/東洋経済新報社)
公共経済学 (常木淳/サイエンス社)
財政学 (伊堀利弘/サイエンス社)
ミクロ経済学講義 (根岸隆/東京大学出版会)
公共選択 (小林良彰/東京大学出版会)

◎演習 I

金融論 (日向野幹也、金谷貞男、柳田辰雄/ サイエンス社)
証券市場 (丸淳子/サイエンス社)
金融論 (堀内昭義/東京大学出版会)
現代経済学のフロンティア (奥野正寛/日本経済新聞社)
応用ミクロ経済学 (伊藤元重、西村和雄/東京大学出版会)

◎演習 II

価格の心理 (小嶋外弘/ダイヤモンド社)
社会心理学 (加藤義明/有斐閣)
ミクロ経済学 (武隈慎一/サイエンス社)
応用ミクロ経済学 (西村周三/有斐閣)
不確実性の経済学 (酒井泰弘/有斐閣)

遠山 馨

◎演習 I

大恐慌とアメリカ財政政策の展開 (平井規之/岩波書店)
世界恐慌 (ギャラティ/TBSブリタニカ)
世界大恐慌の分析 (平田喜彦、佗美光彦/有斐閣)
大恐慌とニューディール財政 (土生芳人/東大出版会)
アメリカの大恐慌 (吉富勝/日本評論社)

◎演習 II

米国関税史 (タウシグ/有明書房)
米国銀行制度発達史 (奥田勲/有明書房)
アメリカ金融史 (西川純子、松井和夫/有斐閣)
大不況下の世界(キンドルバーガー/東大出版会)
世界大不況下の教訓(アート/東洋経済新報社)

吉岡慎一

◎演習 I・II

高齢化社会の経済学 (金森、伊部/東大出版会)
テキストブック社会保障論 (地主、西村/有斐閣)
ミクロ経済学・入門 (西村、室田/JICC)
病院化社会の経済学 (西村周三/PHP)

◎社会保障論

社会保障教室 (小山、山本/有斐閣)
分配理論 (青木昌彦/筑摩書房)
社会保障年鑑'91 (東洋経済)

◎外書講読 I

A Primer in Data Reduction. (A. S. Ehrenberg/John Wiley & Sons)
統計解析への出発 (久米均/岩波書店)
初等統計解析 (佐和隆光/新曜社)

法学部教員

蓮井良憲

◎商法 II

新版注釈会社法 (12) (有斐閣)
新版注釈会社法 (13) (有斐閣)
新版注釈会社法 (14) (有斐閣)
新版注釈会社法 (15) (有斐閣)
ニューヨーク事業会社法 (長浜洋一/商事法務研究会)

堀 真清

◎政治史

翼賛・翼壮・翼政 (赤木須留喜/岩波書店)
検察秘録五・一五事件 (原秀男/角川書店)
検察秘録二・二六事件 (原秀男/角川書店)
昭和憲兵士 (大谷敬二郎/みすず書房)
二・二六事件秘録全巻 (林茂他/小学館)
牧野伸顕日記 (伊藤隆他/中央公論社)

◎演習

北一輝霊告日記 (松本健一/第三文明社)
大川周明日記(大川周明顕彰会/岩崎学術出版社)

河 島 幸 夫

◎演習

ヤルター戦後史の起点 (藤村信/岩波書店)
いまヨーロッパで何が起きているのか (副島豊次郎/PHP研究所)
検証ベルリンの壁 (ペッチェル/三修社)
ビスマルク (ガル/創文社)
学問と信仰 (泉昭雄/中川書店)

◎外書講読

ドイツにおけるユダヤ人の歴史 (ズィーヴェルス/教育開発研究所)
日独伊三国同盟と日米関係 (義井博/南窓社)
父の国の母たち (上・下) (クーンズ/時事通信社)
ドイツ教会闘争の挫折 (雨宮栄一/日本基督教団出版局)
ユダヤ人虐殺とドイツの教会(雨宮栄一/教文館)

◎国際政治論

激動のドイツと国際政治 (河島幸夫/中川書店)
講座国際政治 (全5巻) (有賀貞他/東京大学出版会)
テキストブック国際政治 (新版) (松本三郎他/有斐閣)
世界システムと政治文化 (高柳先男他/有信堂)
現代西ヨーロッパ政治史 (中木康男/有斐閣)

◎外交史

国際政治・外交史概説 (瀬川義信/南窓社)
国際関係史 (義井博/南窓社)
第一次世界大戦 (上・下) (20世紀の歴史/平凡社)
第二次世界大戦 (上・下) (20世紀の歴史/平凡社)
シュミット外交回想録 (上・下) (H.シュミット/岩波書店)

◎ドイツ近代史

ドイツ近現代史 (ディーター・ラフ/シュプリングー東京)
ドイツ革命史—1848・49年 (林健太郎/山川出版社)
兵士の革命：1918年ドイツ (木村靖二/東京大学出版会)
ナチズムと祝祭 (フォンドウング/未来社)
ナチ統治下の民衆 (ベッセル/刀水書房)

◎政治学

平和への新思考 (ガルトウング/勤草書房)
マックス・ウェーバーと日本 (中村勝巳/みすず書房)
賀川豊彦の生涯と思想 (河島幸夫/中川書店)
ナショナリズムの動態 (徳本正彦他/九州大学出版)
ヒトラーと第三帝国 (ヒルデブラント/南窓社)

◎政治学原論

比較政治学の理論(砂田一郎他/東海大学出版会)
マックス・ウェーバー基礎研究序説 (折原浩/未来社)
儀式・政治・権力 (カーツァー/勤草書房)
正義と平和 (カウフマン/ミネルヴァ書房)
権威と服従 (村上信一郎/名古屋大学出版会)

中 森 宏

◎民事訴訟法 I

口述民事訴訟法 (谷口安平/成文堂)
訴訟物と争点効 (上・下) (新堂/有斐閣)

◎民事訴訟法 II

民事保全法の理論と実務 (上・下) (三宅他/ぎょうせい)

野 村 修 也

◎商法 IV

海商法 (五訂版) (戸田修三/文眞堂)
海上物品運送法の基礎理論 (清河雅孝/中央経済社)
貿易売買 (新堀聰/同文館)
コンメンタール国際海上物品運送法 (田中誠二・吉田昂/勤草書房)
増補版運海商法詳論 (田中誠二/勤草書房)

◎外書講読 I

英米法辞典 (田中英夫/東大出版会)
英米商事法辞典 (鴻常夫/商事法務研究会)
英独仏和保険用語辞典 (木村栄一/保険研究所)
入門アメリカ法 (丸山英二/弘文堂)
現代商法 IV 保険・海商法 (今井薫他/三省堂)

◎商法B

現代手形法・小切手法	(田辺康平／文眞堂)
現代手形・小切手法 (改訂版)	(高窪利一／経済法令研究会)
商取引法 上	(江頭憲治郎／弘文堂)
問答式 手形・小切手の実務	(手形小切手実務研究会／新日本法規)
手形法・保険法の理論	(竹内昭夫／有斐閣)

◎商法概論

基礎理論商法	(永井和之／法研出版)
商法の基礎	(倉沢康一郎／税務経理教会)
商法の要説	(喜多祐／中央経済社)

◎演習

会社法(第二版)	(龍田節／有斐閣)
会社法論 上巻(第3版)	(大隅・今井／有斐閣)
会社法入門(第2版)	(前田庸／有斐閣)
論点会社法	(中村・西島／同文出版)

小田島真千枝

◎法学

市民のための法律入門 改訂版 (有斐閣選書)	(中川善之助他／有斐閣)
判例法学 (有斐閣ブックス)	(西村健一郎他／有斐閣)
判例による法学入門	(中川善之助他／青林書院)

◎民法I・II

民法(1)(2)(3) (有斐閣双書)	(遠藤浩他／有斐閣)
目で見る民法教材	(淡路剛久／有斐閣)
民法判例百選 I 総則・物権 (第3版)	(別冊ジュリスト)
	(星野英一、平井宣雄／有斐閣)

◎民法A

民法(1)(2)(3) (有斐閣双書)	(遠藤浩他／有斐閣)
目で見る民法教材	(淡路剛久／有斐閣)
民法判例(1)総則・物権 (有斐閣双書)	(甲斐道太郎他／有斐閣)

関口正司

◎政治学原論

比較政治	(升味準之輔／東大出版会)
概説現代日本の政治	(阿部斎他／東大出版会)
戦後の政党システム	(的場敏博／有斐閣)

◎政治思想史

思想史とはなにか	(Q.スキナー／岩波書店)
政治思想史の方法	(小笠原弘親他／早稲田大学出版部)
西欧政治思想史 I-V	(S.ウォーリン／福村書店)
政治学史	(福田歎一／東大出版会)

高橋貞夫

◎労使関係法I

注釈労働組合法 (上・下)	(東大労働法研究会／有斐閣)
注釈労働組合法、労働関係調整法	(中山和久／有斐閣)
団結権侵害とその救済	(外尾健一／有斐閣)
労働法 (第二版増補版)	(菅野和夫／弘文社)
社会法の現代的課題	(荒木誠文／法律文化社)

◎労働関係法II

注釈労働時間法	(東大労働法研究会／有斐閣)
労働時間法論	(片岡昇他／法律文化社)
変容する労働時間制度 (山口浩一郎／日本労働協会)	
新労働基準法論	(片岡昇他／法律文化社)
労働契約の研究	(岸井貞男／法律文化社)

◎基礎演習

欧米における男女機会均等法制	(女性職業財団)
外国人労働者と人権	(江橋崇／法政大学出版局)
外国人労働の経済学 (後藤純一／東洋経済新報社)	
労働力移動の時代	(手塚和彰／中央公論社)
家族時間と産業時間	(ハレーブ／早稲田大出版部)

◎演習

労働判例百選	(有斐閣)
労働基準実例百選	(有斐閣)
労働法の争点	(有斐閣)
基本判例双書 労働法	(荒木誠文／同文館)
男女雇用平等の新時代	(石橋主税／法律文化社)

田村茂夫

◎法学

新法律学辞典 第3版	(有斐閣)
新法学辞典	(日本評論社)
英米法辞典	(東京大学出版会)
現代日本法の構図	(田中成明/筑摩書房)
法政策学	(平井宣雄/有斐閣)

◎商法 I

商法学における論争と省察	(商事法務研究会)
企業の社会的役割重視の商事法学	(田中誠二/千倉書房)
特別講義商法	(丹羽、丸山/法学書院)
西ドイツ企業法の基本問題	(正井章彦/成文堂)
改正商法の解説	(酒巻、奥島/税務経理協会)

◎商法 II

会社法論〔上巻〕第3版	(大隅、今井/有斐閣)
改正会社法の解説	(北沢正啓/有斐閣)
改正会社法の理論と実務	(酒巻俊雄/ぎょうせい)
企業結合法の論理	(宮島司/弘文堂)
The Law of Corporations. 3rd ed. '91	(Nutshell Series) (Hamilton/West)

◎商法 III

手形法小切手法	(平出慶道/有斐閣)
約束手形法入門〔第4版〕	(河本、田辺/有斐閣)
現代手形法・小切手法	(田辺康平/文眞堂)
現代手形・小切手法 改訂版	(高窪利一/経済法令研究会)
教材現代手形法学	(福瀧博之/法律文化社)

◎演習

国際取引紛争〔増補版〕	(小林秀之/弘文堂)
法と経済学	(マーク・ラムザイヤー/弘文堂)
株式会社法の論理	(阪埜光男/成文堂)
共同決定法と会社法の交錯	(正井章彦/成文堂)
アメリカ商事契約法	(吉田直/中央経済社)

山田 洋

◎演習

国と地方公共団体	(塩野宏/有斐閣)
行政法の争点(新版)ジュリスト増刊	(成田/有斐閣)

◎行政法 II

雄川献呈・行政法の諸問題(上・中・下)	(有斐閣)
行政救済法 I・II	(松村/有斐閣)
行政法 I	(塩野宏/有斐閣)

◎行政法

行政手続法の制定にむけて(総務庁/ぎょうせい)	
情報公開	(総務庁/第一法規)
地方公共団体における個人情報保護の対策の 考え方	(自治大臣官房/ぎょうせい)

横田守弘

◎演習

論点憲法教室	(中村睦雄/有斐閣)
ハンドブック憲法	(阿部照哉、松井幸男/有信堂高文社)
現代憲法講義2〔演習編〕	(浦部、大久保、森、山口/法律文化社)
憲法の解釈 I・II(野中俊彦、浦部法穂/三省堂)	
演習憲法新版	(芦部信喜/有斐閣)

◎憲法 I

憲法〔新版〕	(佐藤幸治/青林書院)
憲法 II 統治の機構	(杉原泰雄/有斐閣)
憲法講義ノート I	(芦部信喜/有斐閣)
憲法 新版	(伊藤正己/弘文堂)
別冊ジュリスト憲法判例百選 I・II(第2版)	(芦部信喜、高橋和之/有斐閣)

◎憲法

憲法概論	(樋口陽一/日本放送出版協会)
憲法(法学への第1歩II)	(杉原泰雄/岩波書店)
憲法の現況と展望(山内敏弘、古川純/北樹出版)	
憲法判例を読む	(芦部信喜/岩波書店)
解説世界憲法集改訂版(樋口陽一、吉田善明/三省堂)	